

浜岡原子力発電所4号機 MOX燃料受取検査で確認した軽微な事象について

平成 21 年 9 月 9 日

4号機MOX燃料受取検査(※1)を9月7日より再開しました。(平成21年9月7日お知らせ済み)

検査未了であった9体のうち、これまでに6体のMOX燃料の受取検査を行い、外観・形状に異状のないことを確認しました。

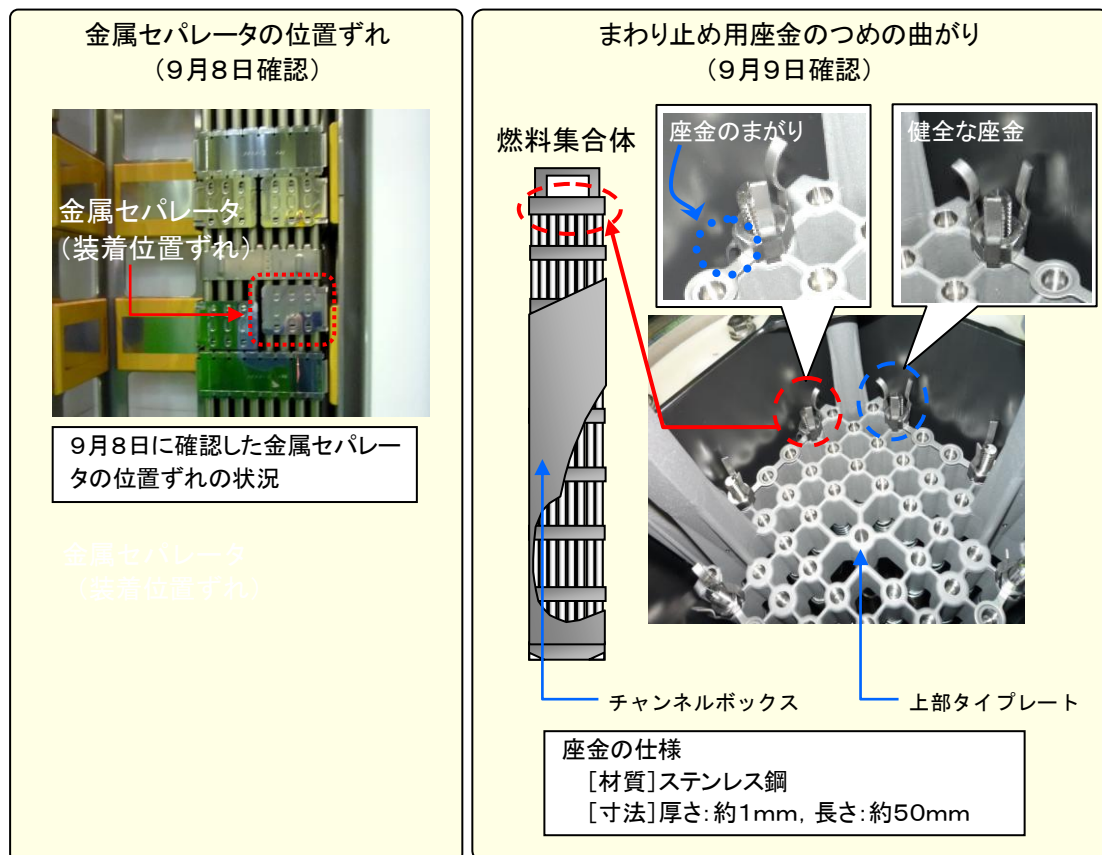
このうち、9月8日に受取検査を実施した5体目のMOX燃料で、これまでに確認されたもの(平成21年8月5日お知らせ済み)と同様な、金属セパレータの位置ずれを1箇所確認しました。

今後、先に確認された金属セパレータの位置ずれ同様、MOX燃料に与える影響評価および原因調査を行ってまいります。

また、本日実施していた7体目のMOX燃料の受取検査において、MOX燃料の上部タイプレートのナットまわり止め用座金(※2)のつめの一部に曲がりがあることを確認しました。

座金の曲がりは、受取検査において、燃料にチャンネルボックスを装着する際に発生したものと推定しており、今後、MOX燃料の健全性評価を行い、座金の補修について検討するとともに、再発防止対策を検討してまいります。

なお、残り2体のMOX燃料については、現在、輸送容器内に保管中であり、これら2体の受取検査は、同作業を行っても問題ないことを確認した後に実施します。



※1 受取検査は、当社が、社内の調達ルールに基づき、輸送に伴いMOX燃料に変形等がないことを外観検査等により確認します。

※2 タイプレートは、燃料棒を束ねるため、燃料集合体の上部と下部に設置されているもので、上下にネジが付いた8本の結合燃料棒により固定されています。座金は、結合燃料棒と上部タイプレートを固定しているナットが緩まないよう、設置しているものです。

以上